



いつもよりもう少し・・・ 心に届く贈り物を子どもたちへ

もうすぐクリスマスですが、15年前のクリスマスの日の新聞に、次の随想が載っていました。執筆された長瀬谷百合子さんは私の知人です。長瀬谷さんの旦那さんは、柳津町の「七日堂裸詣り」と一緒にチャレンジした仲です。

クリスマスと贈り物

長瀬谷百合子 (喜多方市・主婦)

サンタクロースは、四世紀初めにトルコに実在した聖ニコラスがモデルだという。今では子どもたちが楽しみにしているプレゼントも、聖ニコラスが貧しい人々を助けたことが基になっているそうだ。

さまざまな立場の人がいることを知り、助けようとすることは、宗教にかかわらず、忘れてはいけない気持ちだと思う。しかし、モノをあげるという行為だけが人を助けることではないということも忘れてたくないと思う。例えば、今日は子どもといつもよりもう少し遊んでやるとか、話し相手になることも、心を満たす贈り物になると思うのだ。心に届く贈り物ほど素敵なものはない。

今日は周囲に対して「いつもよりもう少し」を心掛けると幸せなクリスマスを過ごせるかもしれない。「いつもよりもう少し」という、ゆとりを持った日々が、暮らしを違った意味で豊かにしてくれるのではないだろうか。(2007. 12. 25 福島民友「民友随想」 文章後半のみ抜粋)

この随想を読んだ後、私は、限られた時間の中で、教師として、「私はどれだけの思いを子どもたちの心に届けることができるのだろうか」という思いにかられました。



6年前、「空っぽ」のランドセルで小学校に入学してきた小さな子どもたちも、今は大きな6年生になりました。6年間という長い年月の間に空っぽだったランドセルの中には、笑顔も涙も、思い出がいっぱい詰まったことでしょう。

以前、“モノより思い出”という自動車メーカーのテレビCMがありました。

親でありながら、教師でありながら、忙しく忙しい毎日の中で、なかなか子どもたちとゆっくり向き合うことが難しい今の世の中です。そんな中でも、二度と帰って来ない小学校時代、子どもたちにとって素敵な思い出をランドセルにいっぱい詰めることができるよう、「いつもよりもう少し」子どもたちの心に寄り添いながら過ごしていきたいと思っています。



お願い、～登下校時の安全について～



雪が降り、路面が雪で覆われたり、凍結したりして滑りやすくなっています。登校時に滑って転び、けがをしたり、服が濡れたりする子どもたちが見られますので、冬道を安全に歩くために、次のことにご配慮いただければ幸いです。

👜 滑りにくい靴底で、雪が入りにくい丈の長い靴を履くことをお勧めします。

👜 手袋の着用をお勧めします。(ポケットに手を入れて歩くと転倒した際に危険です。)

👜 帽子の着用をお勧めします。(防寒だけでなく、転倒した際に頭を守ります。)